

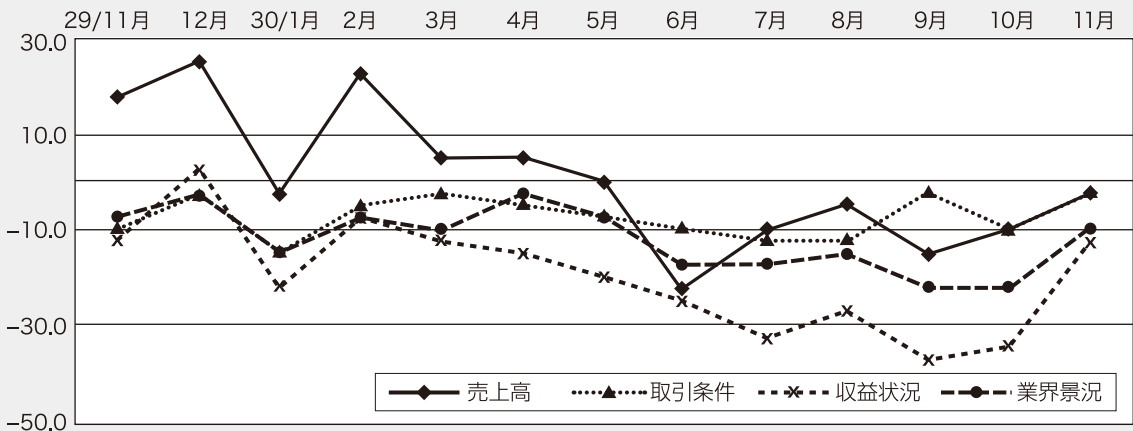


業界の今!

情報連絡員報告より
11月の業界の動き

◆ 平成30年11月度 情報連絡員報告 ◆

全業種DI値
業界の景気動向(前年同月比)



	29/11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	増減
売上高	17.5	25.0	-2.5	22.5	5.0	5.0	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	-15.0	-10.0	-2.5	7.5
取引条件	-10.0	-2.5	-15.0	-5.0	-2.5	-5.0	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	-2.5	-10.0	-2.5	7.5
収益状況	-12.5	2.5	-22.5	-7.5	-12.5	-15.0	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	-37.5	-35.0	-12.5	22.5
業界景況	-7.5	-2.5	-15.0	-7.5	-10.0	-2.5	-7.5	-17.5	-17.5	-17.5	-22.5	-22.5	-10.0	12.5

概要

平成30年11月の前年同月比DI値は前月に比べ、「売上高」、「取引条件」はともに7.5ポイント、「収益状況」は22.5ポイント、「業界景況」は12.5ポイント改善した。

11月は例年より平均気温が高めに推移していることから、来客の増加や、秋冬野菜の生産が好調であるとの声もあるが、一方で冬物商品の売れ行きが悪いといった声もあった。

人材不足や燃料価格の上昇は各業界に影響が出ており、懸念材料も多く、中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。

県内の経済状況が安定し上方傾向にあるが、人材不足や燃料価格の上昇等不安材料はある(一般機器)

集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品 漬物	9月下旬以降、例年より平均気温が高めに推移していることから、秋冬作の原料野菜の生育が急速に進み、例年より早く生産が進められている。一方で、生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、原料野菜の確保に苦慮しており、県外業者との新規の取引を検討している。また、11月12日に外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則の改正により、「農産物漬物製造業」が新たに2号移行対象職種に追加され、全日本漬物協同組合連合会が「農産物漬物製造業技能実習評価試験実施機関」として正式に認定され、組合員の関心が高まっている。
	印刷 印刷	年末に向けてパッケージやチラシ関係の需要は伸びているが、その他一般の印刷物は価格競争等厳しい業況が続いている。また、年賀状印刷は昨年以上に受注が減少している。
	一般機器 四日市	このところ県内の経済状況が安定し、上方傾向にある。人材不足や燃料価格の値上がり等不安材料はあるものの、組合員一同頑張っている。企業トップの交代期にある組合員もあり、各々で企業努力を続けている。
非製造業	小売業 自転車	11月上旬にはサイクリング大会等各種イベントが多くあり、ユーザーとの交流を深めるよい機会だった。この時期例年次年度商品の入荷(早期注文、早期展示)があり、今年度商品の在庫処分も含め、売出しと合わせて店内様変わりする季節である。天候も暖かく、昨年並みの動きはあったとの報告も届いている。ただ、2019年度新モデルが1割以上の値上がりとなっており、8万円以上(税込)商品を数多く展示はできないとためらうショップもあるとのことである。
	サービス業 測量	前月と同様元請が少なく、大手の下請に忙しい組合員が半数、残り数社は測量以外の仕事についている。
	建設業 内装工事業	今年度の増減を繰り返す流れの中で、11月分は前年同月比で増加となった。この流れは年度末まで続くと思われるが、年間の推移でみると、平均化されられると思われる。

【P8「チャレンジ!! 組合士」の解答&解説】

【解答】A=X, B=○, C=X 【解説】A. X 5億円 ⇒ ○ 3億円 C. X 組合員の3分の2 ⇒ ○ 組合員の全員